

MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社

広報・IR部 〒104-0033 東京都中央区新川 2-27-2
TEL : 03-5117-0270(代表)
www.ms-ad-hd.com

立ちどまらない保険。

MS&AD
INSURANCE GROUP

2021年6月25日

2050年ネットゼロの実現に向けた取組み（その2）

MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社（取締役社長 グループCEO：原典之）は、SDGsを道しるべに「レジリエントでサステナブルな社会」を目指し、社会との共通価値の創造（CSV：Creating Shared Value）に取り組んでいます。本取組の一環として、気候変動への対応を進めており、2050年度までにCO2排出量を実質ゼロ（ネットゼロ）とする目標を2021年5月に掲げました^{※1}。

本目標の達成に向けては、当社グループが排出するCO2削減に加え、サプライチェーンでの削減が重要となることから、お客さまをはじめとしたステークホルダーとともに、グループ一体で脱炭素社会の実現に向けた取組みを進めていきます。具体的な取組みは以下の通りです。

※1 2021年5月20日リリース「2050年ネットゼロの実現に向けた取組み」については[こちら](#)

1. 社会のCO2排出削減に資する取組み

（1）新設の石炭火力発電所に係る保険引受と投融資の停止

今後計画される石炭火力発電所に対する保険引受や投融資を行わないこととします。

<石炭火力発電に係る保険引受・投融資の方針（「サステナビリティを考慮した事業活動」^{※2}の抜粋）>

従来	⇒	見直し後
今後新設される石炭火力発電所の保険引受や投融資を原則行いません。ただし、当該国のエネルギー安定供給に必要不可欠な場合等については、慎重に検討のうえ、対応することがあります。		今後計画される石炭火力発電所の保険引受や投融資は行いません。

※2 「サステナビリティを考慮した事業活動」全文は[こちら](#)

（2）再生可能エネルギーの普及・拡大を支援

脱炭素社会の実現に向け、再生可能エネルギーの普及・拡大に資する革新的技術の確立と社会実装や、環境に配慮する自動車の普及を、保険商品やコンサルティングサービスなどのリスクソリューションの提供を通じて支援していきます。

2. 気候変動の影響を減らす取組み、備える取組み

当社グループは、気候変動に関するリスクをお客さまに伝えることも重要な責務と考え、大学、研究機関やスタートアップ企業と連携した最新の知見に基づき、気候変動が事業に与える影響を評価するサービスを提供しています。

3. 今後の取組み

当社グループは、新たに設定した目標の達成と取組みの実践に向け、今後のロードマップと各取組みを推進するためのKPIを設定し、着実に取組みを進めていきます。

以上

(別紙) 具体的な取組み事例

1. 社会のCO2排出削減に資する取組み

●再生可能エネルギーの普及・拡大を支援する取組み

	取組み内容
1	「グリーン電力証書」の安定供給を支援する保険の販売 グリーン電力証書の発行事業者が、グリーン電力発電者の稼働停止等で一時的に他の発電者等からグリーン電力を調達するために必要な費用を補償する保険を提供しています。
2	「水素バリューチェーン推進協議会」への参画 早期の水素社会構築に向け、様々な業界が共に社会実装のプロジェクトに取り組む「水素バリューチェーン推進協議会」に参画しています。メンバー企業と連携し、水素社会構築を加速させるための課題解決や水素社会実現に向けた活用シーンの創造等に取り組んでいます。
3	自治体の「ゼロカーボンシティの取組み」の支援 自治体は、脱炭素化に向けた技術の実装を通じて地域経済の成長を促進するため、再生可能エネルギーの地産地消や需給調達等の再エネ事業を推進しています。当社グループは、自治体との協業実績も複数あるスタートアップ企業等とのアライアンスにより再生可能エネルギーを基盤とした地域活性化を目指す取組みを支援し「脱炭素」と「地方創生」を後押ししていきます。
4	「再生可能エネルギーアグリゲーション実証事業」への参画 経済産業省の「令和3年度再生可能エネルギーアグリゲーション実証事業 ^{※1} 」に参画し、再エネアグリゲーター ^{※2} や再エネ発電事業者に生じるインバランスリスクを補償する新たな保険商品を開発し、安定的かつ効率的な電力システムの構築に貢献します。
5	洋上風力発電事業を支援 海洋再生可能エネルギーの専門ユニットを設置し、学術研究機関や業界団体などの社外関係者と連携して、洋上風力発電事業に関わる商品・サービスの研究・開発を行っています。洋上風力発電事業のリスクマネジメントを支援していくと共に、補償の提供を通じて洋上風力発電の普及に貢献していきます。

●環境に配慮する自動車の普及を支援する取組み

	取組み内容
6	自動車保険の割引により電動車の普及を支援 自動車保険に「 地域の移動手段の確保に向けて導入が進む電磁誘導線を活用した自動運転車(低速EV)向けの割引 」や「 TOYOTA 超小型EVへの車両保険10%割引 」を導入し、低廉な保険料の提供を通じて環境配慮に資する電動車の普及を支援しています。また、テレマティクス自動車保険のパイオニアとして、安全運転やエコドライブを促進し、事故時修理の省資源化や環境負荷軽減にも貢献していきます。
7	「電動車活用推進コンソーシアム」への参画 企業・団体等が業務用車両の電動化を通じて、持続可能な社会の実現を目指す「電動車活用推進コンソーシアム」に参画しています。CO2排出量削減に加え、電動車の非常用電源としての活用など災害に強いまちづくりに向けた取組みを進めています。

※1 令和3年度 蓄電池等の分散型エネルギーリソースを活用した次世代技術構築実証事業費補助金(再生可能エネルギー発電等のアグリゲーション技術実証事業のうち再生可能エネルギーアグリゲーション実証事業)

※2 再エネや蓄電池等の分散型電源などを束ねて電気の供給を行う事業者

2. 気候変動の影響を減らす取組み、備える取組み

● 事故・災害の未然防止・損害の極小化・事故からの迅速な回復

取組み内容	
8	台風、豪雨、地震による被災建物棟数予測サイト 国立大学法人横浜国立大学およびエーオングループジャパン株式会社と共同で、台風・豪雨・地震による被災建物棟数・被災率をリアルタイムで予測する世界初のウェブサイト「cmap (シーマップ)」を提供しています。
9	気候変動リスクに関する情報発信 気候変動リスクに関する様々なコンサルティングサービスの提供や情報発信を行っています。 2021年7月には企業経営にとっても喫緊の課題である気象災害への備えをテーマとしたセミナー「気候変動に備えた事業継続力強化計画」を開催します。

● 気候変動の影響を把握

取組み内容	
10	気候変動リスクの企業経営への影響把握を支援 当社グループのMS&AD Ventures Inc. を通じて出資した気候変動リスク分析のベンチャー企業 Jupiter Intelligence 社とインターリスク総研が提携し、企業のお客さまを対象に、気候変動が事業に与える影響を定量的に評価するとともに、それを踏まえた科学的根拠のある戦略策定および情報開示を支援しています。

項番1、2、3は三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保、項番4、5は三井住友海上、項番6、7、8はあいおいニッセイ同和損保、項番9、10はMS&ADインターリスク総研の取組み

以上

MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社について

MS&ADホールディングスは、三井住友海上火災保険株式会社、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社などの保険会社を有する保険持株会社です。グローバル市場での業界トップ水準の保険・金融サービス事業を通じて、安心と安全を提供し、「活力ある社会の発展と地球の健やかな未来」を実現する価値創造企業として、世界50の国・地域で事業展開しています。未来のあるべき姿を目指し、ステークホルダーの皆さまと、社会的な価値の共創に取り組んでいます。

www.ms-ad-hd.com